



2013年3月・員弁にて米支援の作業



2012年7月・亘理町仮設お米配布



2015年3月・子どもイベント餅つき大会

東北震災支援と員弁組

震災支援ネットワーク東海事務局
草薙善照 照順寺(桑名市友村)

2011年3月11日の午後2時46分に東日本大震災は発生しました。その日は員弁組十三日講の法座で会所寺院の浄願寺本堂ではお聴聞されている時でした。今までに感じたことのない気分の悪い揺れに驚愕し、自宅に帰宅してテレビをつけると、被害の様子に絶句したのを思い出します。

避難生活を強いられた被災された方々は、冷たく床の固い体育館などでの生活から、GW頃から順次仮設住宅へ入居されることとなってきました。東海教区内に「震災支援ネットワーク東海」という若手僧侶を中心とした支援団体が結成され、仮設入居の際にお鍋や食器などの炊事・食事に必要なものを、生活用品セットとしてお渡しする活動を、大阪・新潟・富山・京都の仲間たちと共に取り組み、宮城県亘理町・山元町、福島県新地町・楡葉町(会津美里町へ仮設移住)の皆さんにお届けし、大変喜んで頂きました。また、仮設住宅には大きな集会所が建てられており、その集会所で日用雑貨や新品の衣服を取り揃えた無料バザーを各地で行いました。入場制限をするほどの大盛況でした。



▲2013年2月・亘理町仮設傾聴活動

希望された方が仮設住宅への入居が完了しそうな頃、次の支援活動はどのようなものが良いか思案していたところ、員弁組僧侶の先輩方との飲食の席で「東海教区内は農村部も多い、特に員弁はそうである。お米を集めて配ってみ

ては？」とアドバイスをもらいました。有縁の皆様にお声かけして、集まったお米を3キロに梱包し、仮設住宅の一軒一軒回り、お声かけしながら、時には上がらせて頂いてお茶をご馳走になったり、井戸端会議に参加したりしつつ、



▲2011年10月・亘理町無料バザー

お渡ししながら傾聴活動を行い、様々なお話をお聞きしました。お米の総量は1.8万トン、延べ6,500世帯にお届けし、2012年6月から2015年6月の3年間に全15回、トラックと乗用車で三重と東北を延べ45往復した活動となりました。また、私たちのその活動を現地ですと後押しして下さった宮城県亘理町にある真光寺様の本堂境内をお借りして、春休みの時期に子どもイベントを2012年から2019年まで毎年行いました。

様々な支援活動に参加して、お会いした方々から勿体ないほどのお礼の言葉をかけて頂きました。私たちの活動には、支援金で応援して下さいました方、物品を提供して下さいました方、お米を提供して下さいました方、お米の梱包などの作業をして下さった方、後方支援に携わって下さった方の誰一人として欠けることがあっても成り立たなかった活動であったと思います。あたたかいお礼の言葉を皆さんと共有し、いつまでも東北地方に思いを傾けて、つながったご縁を大切にしていきたいと思っています。



▲2015年2月・亘理町仮設お米配布

コロナウイルスの感染拡大で、ここ3年間は東北にお伺い出来ていません。今年は十三回忌となりますが、皆で大きな行事などを行うことも難しそうです。今はかなわないことですが、いつか必ず懐かしい皆さんに会いに行きたいと思っています。

団体参拝から個人旅行まで 旅のご用金は
観光庁長官登録旅行業第55号 (一社) 日本旅行業協会正会員

名鉄観光サービス株式会社

津支店

津市栄町3丁目141-1 モアビル5階
電話 059-225-7676 本願寺担当者: 佐藤 篤

桑名の老舗
仏壇・仏具・お洗濯

福井屋

寺町本店 新西方店 明竜工場

代表 0594-22-3121



白い象が目印

墓石・石材工事一式

石 慶

大安町石樽南

デンワモヤッパライシヤ

☎78-0148 (工場) ☎78-2039

いなべそ
チャンネル

YouTubeにて
【WEB法話】
随時更新中